

## 2月定例会の一般質問

19人の議員が、市の行財政全般についての執行状況や将来への考え方等を問い、適切に進んでいるかをチェックしました。また多くの議員は、市に対して施策の提言も行いました。

### Topics

### 議員はこんな内容を質問しています！

- ・ゼロカーボン戦略の方向性 →P13
- ・生涯学習と地域づくり →P14
- ・住み慣れた地域での高齢者支援 →P14
- ・富士宮の店舗を観光目的地に →P14
- ・富士山噴火への対応 →P15
- ・小学校の課題 →P15
- ・小学校へのタブレット導入後の課題 →P16
- ・小学生のランドセルの重さ →P16
- ・ゼロカーボンと森林の二酸化炭素吸収量 →P16
- ・市立児童館の周辺環境整備 →P16
- ・富士宮市の未来構想 →P17
- ・運転技能検査と市の対応 →P17
- ・富士宮市のスポーツ活性化 →P17
- ・5～11歳へのワクチン接種の安全性 →P18
- ・ファクトチェックと感染症対策 →P18
- ・公共放送と同報無線 →P18

- ・避難場所と避難所運営 →P19
- ・プラスチックごみの分別回収 →P19
- ・ふるさと納税の思いやり型返礼品 →P19
- ・メタバースとVRゴーグルの活用 →P20
- ・納骨堂や樹木葬墓地について →P20
- ・富士宮市の牛乳の美味しさの周知 →P20
- ・花いっぱいのみちづくり →P21
- ・保育所等の保留児童の実態と改善 →P21
- ・学校等の休校時の保護者への休業補償 →P21
- ・北部地域の発展計画 →P22
- ・学校教育環境の整備 →P22
- ・市民プールでの高齢者割引料金の導入 →P22
- ・市役所で発行する書類の「書かない窓口」の導入 →P22

#### ～その他、紙面の大きさ上、掲載しきれなかった質問～

- ・国際スポーツ都市、富士宮
- ・富士山女子駅伝の同報無線
- ・高齢者施設とエッセンシャルワーカーの感染症防止



さいとう かずふみ  
**齋藤 和文**  
(公明会)

### 富士宮市ゼロカーボン推進戦略について

**問** 再生可能エネルギー設備導入可能性調査について。

**部長** 環境省の補助事業を活用し、令和4年度全ての公共施設が対象となる予定。調査結果に基づき太陽光発電が設置可能な公共施設に導入することを前提として、全公共施設を対象とした電力契約の見直しを検討していく。初期投資費用なしで太陽光発電設備が設置できる第三者所有の電力販売契約であるPPAモデルの活用、省エネ対策をはじめとした施設全体のマネジメントの提案を盛り込んだ長期継続契約について、今後公募型プロポーザルを実施していく考え。

**問** 公共施設の再生可能エネルギー使用率（公共施設全体の電力使用のうち再生可能エネルギーの使用率）について。

（ギーの使用率）について。

**部長** 公共施設19か所ですべて約18万kwhの太陽光発電を行い、全体使用量は約3050万kwhであることから、再エネ率はおよそ0.6%。

**問** 2050年には公共施設の100%ZEB化\*とあるが、具体的な行動計画については。

**部長** ZEBとはゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）の略称で、建築物の消費エネルギーを省エネによって減らし、創エネによって使う分のエネルギーを賄い、建物全体のエネルギー使用量をゼロにするもの。国の方針では、将来的に新設する全ての建物について義務化が確実視されている。富士宮市においてもゼロカーボン推進戦略に基づき、今後新設や建て替えの公共施設については基本的に全てZEB化対応していく考え。具体的な行動計画の策定は考えていないが、静岡県は県有施設のZEB化に向けた設計指針を策定し、県内市町への波及を図る予定であると聞いている。それを参考に市有施設のZEB化の基本方針等対応について各部署と検討したい。